

2026年6月5日

サントリーグループと 「ペットボトルリサイクル協定」を締結 - 「ボトル to ボトル」 水平リサイクルで SDGs に貢献 -

学校法人国士舘（理事長・瀬野隆＝東京都世田谷区 以下、「本学」）はこのほど、サントリーグループと「ペットボトルリサイクル協定」を締結しました。

本協定に基づき、本学世田谷キャンパスで集められた使用済みペットボトルを新たなペットボトルに生まれ変わらせる「ボトル to ボトル」水平リサイクルに本学が参画します。学内の資源を活用した社会貢献活動を促進することで、キャンパスの持続可能性の向上と社会課題の解決に取り組んでまいります。

◆協定締結の背景

本学では、学校法人国士舘第3次中長期事業計画に定める「学内資源を活用した地域連携・社会貢献」に重点的に取り組んでいます。とくに、世田谷キャンパスにおいては、効果的な資源循環 CO₂削減を目的に、学内で排出されるペットボトルの分別活動に取り組むほか、キャップの回収活動を行い、収集したキャップを子どもワクチン支援活動のために寄付するなど持続可能な貢献活動に取り組んでいます。

サントリーグループは、「人と自然と響きあい、豊かな生活文化を創造し、『人間の生命（いのち）の輝き』をめざす。」を目的に掲げ、創業以来、持続可能な社会の実現を目指してきました。ペットボトルに関しても「100% サステナブル化」することを目標にさまざまな取り組みを行っています。

今回、「リサイクル適性が高く、再資源化の仕組みが整っているペットボトルを資源として循環させていくことで持続可能な社会の実現に貢献する」という両者の思いが一致し、このたびの協定締結に至りました。

◆「ボトル to ボトル」 水平リサイクルとは

使用済みペットボトルを新たなペットボトルにリサイクルすること。

本学では、キャンパス内で排出された使用済みペットボトルをきれいに分別・回収し、リサイクル事業者を通じて再資源化を行い、再び飲料用ペットボトルとして活用いたします。ペットボトルを資源として何度も循環させることにより新規化石由来原料の使用量削減と CO₂ 排出量の削減に寄与します。



◆期待される効果

本取り組みを通して、両者が目指す資源循環の促進および環境負荷の低減に寄与するとともに、本学における環境配慮が促進され、持続可能な開発目標（SDGs）の達成にも資することが期待されます。

・目標 12「つくる責任 つかう責任」

→使用済みペットボトルを新たなペットボトルへ再生する水平リサイクルを推進することで、資源の有効活用を図り、持続可能な消費と生産の実現に寄与します。

・目標 13「気候変動に具体的な対策を」

→再生資源の活用により、石油由来の新規資源使用量及び製造時の温室効果ガス排出量の削減を促進し、気候変動対策に貢献します。



◆本学の環境への取り組み

●ペットボトルキャップを子どもワクチン支援活動のために寄付

本学では、ペットボトルキャップの回収活動を通じた社会貢献活動に取り組んでいます。

キャンパス内で集められたキャップは、「首都圏環境美化センター」を通して「認定 NPO 法人 世界の子どもにワクチンを 日本委員会（JCV）」に寄付され、子どもワクチン支援活動にあてられます。

- ・2024年6月回収・・・49 kg（子ども約24人分のワクチン）
- ・2025年3月回収・・・90kg（子ども約45人分のワクチン）
- ・2025年12月回収・・・40kg（子ども約20人分のワクチン）

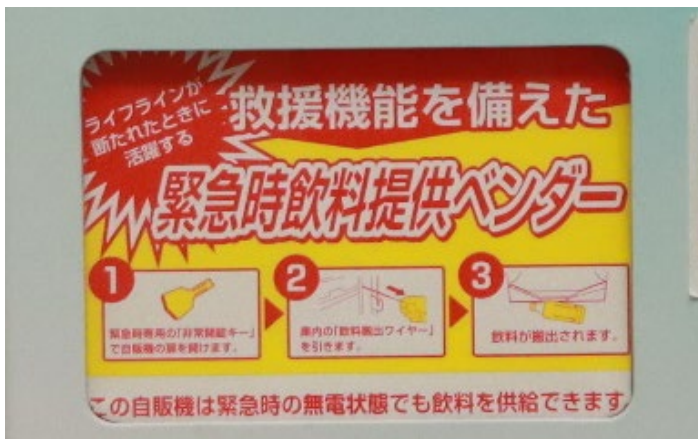


集められたペットボトルキャップ

●防災拠点大学×自動販売機

防災教育に力を入れる本学では、災害時を想定した施設整備環境を整えています。

本学世田谷キャンパスに設置されているサントリー自動販売機では、災害による停電時でも飲料供給が可能な「緊急時飲料提供ベンダー」を導入しています。



◆ 学校法人国士館環境への取り組み（参考）

<https://www.kokushikan.ac.jp/houjin/efforts/save/>

◆本プレスリリースに関するお問い合わせ

学校法人国士館 理事長室広報課（担当：松田） 〒154-8515 東京都世田谷区世田谷 4-28-1

TEL:03-5481-3115 FAX:03-5481-5477 E-mail:kouhou@kokushikan.ac.jp